

各地域の林業事業体においてスマート林業の導入を行うICT技術の精通者となるコア技能者の育成や、スマート技術の情報共有・普及を行うことにより、県内全体でスマート林業への取組が一層加速化され、林業の生産性や安全性の向上に繋がります。

こうした取組により、安全で快適な労働環境が確保され、若者等が林業を働きやすい魅力ある職場としてとらえることで、新規林業就業者の増加や林業経営体における定着率の向上し、持続可能な林業に繋がります。

### 三重の林業の現状と課題

危険： 労働災害発生率は約30年にわたり、全産業の中で最も高い値  
従事者不足： 林業が盛況であった昭和55年と比べ約4分の1に減少  
低生産性： 木材価格が高かった時代の生産や流通の仕組みから大きく変化できておらず、林業先進国と比較すると低位

### 目指すべき姿

ICT先端技術等を活用したスマート林業モデルを実装することで、労働安全性・労働生産性の向上を図り、「持続可能なもうかる林業」を実現し、林業をより魅力ある場（産業）へ

## 令和6年度の取り組み

### ①スマート林業の実装 (3,842千円)

森林施業の低コスト化、労力の低減、生産性及び安全性の向上等に向け、スマート林業の現場実装を加速化させるため、各地域の林業事業体においてスマート林業の導入を行うICT技術の精通者となるコア技能者を育成するとともに、コア技能者を中心としたスマート技術の向上に向けた研修会等を開催します。

- ・研修会開催等
- ・ドローンスクール受講料支援 補助率 1/3

### ②スマート林業の普及 (1,707千円)

みえスマート林業推進協議会においてスマート技術を導入して得られた成果や最新の知見等を関係者に周知することにより、各地域へのスマート林業の定着を促進するとともに、林業事業体の経営者や県内市町等の理解の促進を図り、地域全体でスマート林業を推進する体制の構築を図ります。

※みえスマート林業推進協議会・・・令和4年9月設立